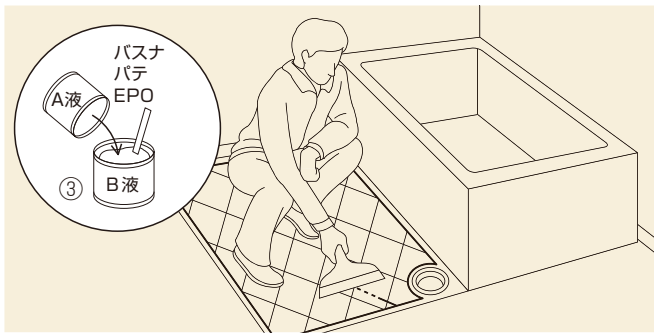


## ■ バスナリアルデザイン・バスナフローレ・バスナルティ 住宅浴室施工手順



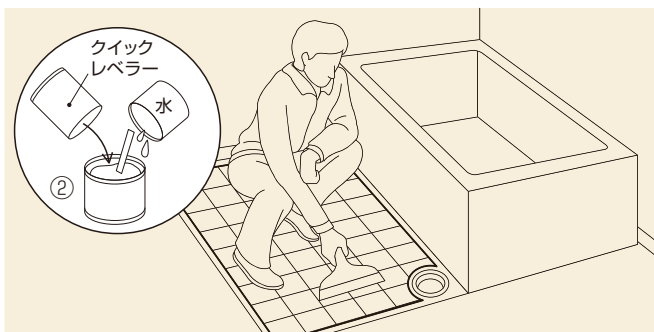
### 1. 下地の補修

#### (ユニットバスのFRP下地の補修)

- ①きれいに清掃します。
- ②サンドペーパー等で下地を荒らします。
- ③使用方法にしたがって「バスナパテEPO」のA液B液を等量混合します。
- ④左官ゴテや地べら等を使用して、目地等、凹凸を埋め平滑にします。

#### ■注意事項

- ・ 発熱しながら硬化します。やけど等にご注意ください。10℃以下の環境では硬化不良となりますので、空調等で室温を上げて施工してください。
- ・ クイックレベラーなどのセメント系補修材はFRP下地に使えません。



#### (セラミックタイル下地の補修)

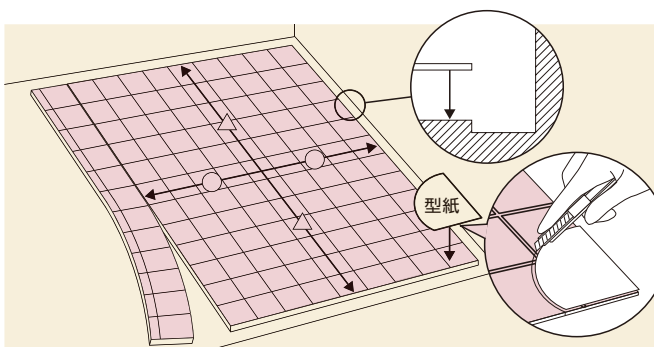
- ①きれいに清掃します。
- ②使用方法にしたがって「クイックレベラー」に水を混ぜてください。
- ③左官ゴテや地べら等を使用して、セラミックタイルの目地部分を埋めて平滑に仕上げます。
- ④生乾きを目処に、セラミックタイル上に付いた「クイックレベラー」は拭取るか、ケレンで取り除きます。

#### ■注意事項

- ・ セラミックタイル上に「クイックレベラー」は残さないでください。

※下地の凹凸が激しく(1mm以上)あり、下地補修材(バスナパテEPO、クイックレベラー)で目地埋めができない場合、下地材を剥しモルタル・コンクリートを打ち直していただくか、グラインダー等で削り平滑に仕上げてください。

※下地補修により、下地の水勾配が取れなくなり窪みなどができると水はけ性が悪くなります。下地水勾配を排水口に向かい1/100~3/100に仕上げてください。



### 2. シートをカット

- ①シートを貼る範囲を決め、中心より割付けます。中心点より前後左右を均等な長さにします。
- ②シートの貼付位置にエンピツ等で基準線を入れておきます。
- ③メジャーで採寸し、定規で正確にカットします。
- ④排水口など曲線部分は型紙を取り、型紙を元にカットします。

※シートはあらかじめ仮敷きを行い、十分に巻き癖を取り除いてください。

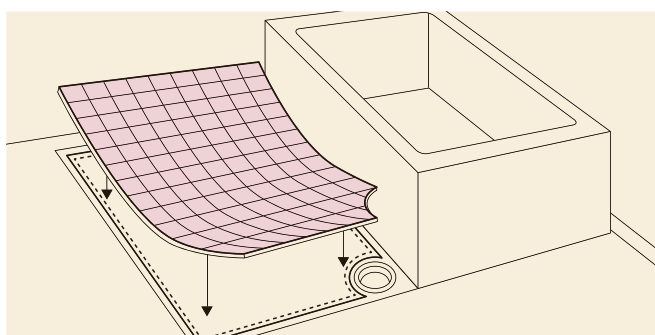


### 3. 接着剤を塗布

- ① 下地補修材が乾燥したことを確認し、ケレン用具やサンドペーパー等で下地補修材を平滑にします。
- ② ゴミ、ホコリ等を取り除き、きれいに清掃します。
- ③ 使用方法にしたがって「バスナセメントEPO」のA液B液を等量混合します。
- ④ くしばけを使用し速やかに塗布してください。

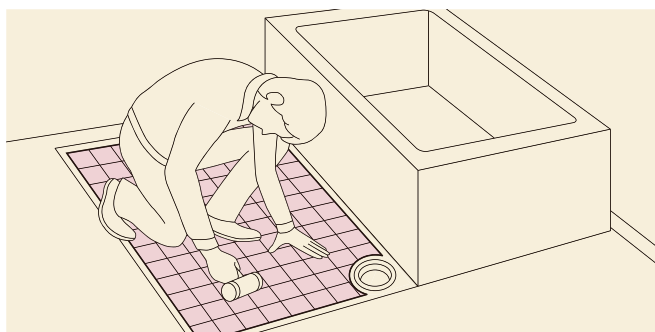
#### ■ 注意事項

- ・ 10℃以下の環境では硬化不良となりますので、空調等で室温を上げて施工してください。



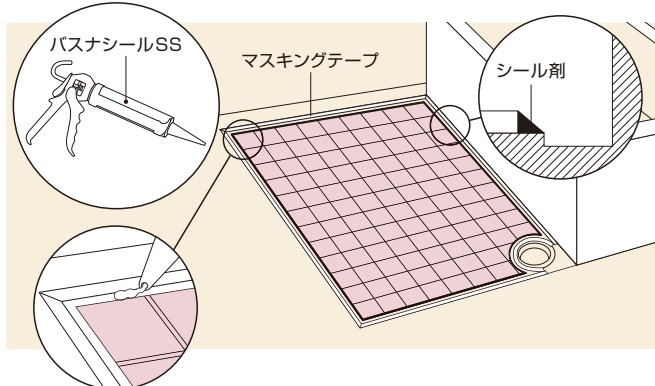
### 4. シートを貼る

- ① 適切な待ち時間(約20分)をとってください。  
貼付可能時間は以下が目安です。  
夏季 20～60分  
冬季 20～120分
- ② シートに巻き癖が残っている場合は、裏巻きにする等して十分に巻き癖を取り除いてください。
- ③ 基準線に合わせてシートを貼付けてください。



### 5. 圧着

- ① ハンドローラーでしっかり圧着します。  
※ 巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生する事があります。その場合はライスター、ドライヤー等の熱風でシートをやわらかくした上で再度圧着してください。



### 6. 端部処理

- ① シート全周をおよそ5mm巾で仕上がるようにマスキングテープを貼ります。
- ② ゴミ、ホコリ等を取り除き、水分の無い事を確認します。
- ③ 「バスナシールSS」をコーキングガンにセットして、シート端部に充填します。
- ④ 充填後すぐに仕上げ用のヘラなどを用いて平滑に仕上げます。
- ⑤ 表面を仕上げた後、すぐにマスキングテープを取り除きます。

**注意事項** 一晚養生し、その後の入浴は可能ですがシールが完全に硬化するまでに2～3日かかります。  
シールが完全に硬化するまでは、シール部分を踏んだり、ブラシ等での清掃はお避けください。